

いのちの授業

鳥取大学医学部地域医療学講座 紙本美菜子先生をお迎えし、2年次生が「いのちの授業」を受講しました。人が亡くなるときの身体の変化について、死から生を見つめる、いのちについて難しい本よりも絵本から考えてみよう、対話的鑑賞(事実と解釈の違い)、いきかた「その人らしさ」の表現などなど、生徒に多くのメッセージを伝えてくださいました。最後に、「いきかた川柳」をみんなで考えました。生徒の川柳を一部、紹介します。

「生きるため たくさん食べる 母のごはん」

「ビビるなよ まずは挑戦 なにごとも」

「生きていて 壁にあたるも 越えていく」

「ともだちと 話せる毎日 しあわせだ」

「にこにこ 毎日笑顔 幸せだ」

「家帰り 今日も愛猫に 癒やされる」

「毎日を 生きてるだけで えらいです。」

紙本先生が紹介された絵本



気さくに話してくださいました。